令和6年度　年間授業計画

教　科：外国語　　科　目：英語コミュニケーションⅡ　　単位数：4

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	Vivid English Communication Ⅱ（第一学習社）
	補助教材：	hyper Listening ,Vivid workbook 英文法ワークショップ

教科（　外国語　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目（　英語コミュニケーションⅡ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	基本的な語彙だけでなく、様々な分野で幅広く語彙力をつけることを目的にする。また、高校で習う文法を繰り返し指導をして、短文だけでなく、長文の中でも理解できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	教科書で習った項目を使って、自分の考えを書けたり話したりできる力を身に付ける。また、教科書で扱った社会問題などを理解して、そこから自分の考えを話せたり、伝え合ったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	課題をしっかり取り組み、そこから自主的に勉強をする習慣を身に付ける。また、自分の取り組んだ課題から、さらに学ぼうとする姿勢を身に付ける。

令和6年度　年間授業計画　科目（　英語コミュニケーションⅡ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[や]	話[発]	書					
1学期	単元　Japanese Athletes and English	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	スポーツに関する語彙力をつける。進行形、受け身、分詞を使った文を理解する。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						日本人アスリートと英語について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	日常的な話題や場面を想定して、社会的な話題を題材にして、自分の意見を言うことができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、日本人アスリートについてスピーチをすることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	外国で活躍している日本人アスリートの学ぶ姿勢から、自分たちがどのように学びを続けていくか考え、主体的に自己の課題に取り組む。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						単語テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける発表に積極的に参加できる。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2
	単元　Our beloved yellow fruit	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	絶滅の危機に直面しているバナナを通して、環境に関する語彙力を身に付ける。形式主語を使った文を理解できる。また強調形を使いこなす。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						バナナの特徴や危機について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	バナナなどのなじみのある食べ物からが病気から絶滅の危機に瀕している。そこから、自分たちができることを、自分の言葉で話せ、また書くことができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、好きな果物や野菜についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	身近な果物や、野菜などの歴史を知り、それらが直面している問題を理解する。さらにそこから自分たちができることを考えて、解決策を考えて実行に移していくことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						単語テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける発表に積極的に参加できる。				
	単元　Preparing for potential risks	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	14
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	最近話題よくのぼる災害などに使われる語彙を身に付ける。グラフの見方を理解できる。完了形を使うことができる。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						自然災害と防災について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	ハザードマップに付け加えたら便利だと思うこと、また避難場所で必要とされることなどを英語で話せて、書けることができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、ハザードマップから読み取ったことについてプレゼンテーションをすることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	今世界的規模で頻発している災害をもう一度認識する。自分たちができること、また災害を減らすために日頃からしなくてはならないことを考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						単語テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける発表に積極的に参加できる。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　英語コミュニケーションⅡ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当時数
			聞	読	話[や]	話[発]	書					
2学期	単元　To make a more open society	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	国際化に関連する語彙力を身につけて使えることができる。関係代名詞の制限用法と非制限用法を使えることができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						国際化する日本の状況と開かれた社会にするために重要なことについて的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	外国から来た人たちとどのように関係を保っていけばいいのか、また社会をもっとオープンにするためにはどのようなことを念頭に置くべきかなど、英語で表現して発表することができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、文化交流イベントのポスターを作り、発表することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	国際化社会と言われて久しいか、まだまだ日本は外国人と接することを避ける傾向にある。国際化している社会でどのようなふるまいをして、そのために英語が必要になってくるかを考え、取り組こむことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	単元　True love between a cat and a dog	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	ペットやペットを飼うことなどについての語彙を理解できる。様々な受け身の形を理解して使いこなすことができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						ネコのくぅと犬のしのがともに過ごした時間ときずなについて的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	人々が癒しを感じて身近にペットを置く傾向がますます強くなっている。それに対しての意見や考えを述べて、また書くことができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、写真に合うくぅとしのの会話を創作し、写真の説明を発表することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	人とペットが触れ合うことの大切さと、それが果たしている役割について考えていくことができる。またペットを社会で受け入れていくことの大切さを理解できるようにする。そのために何ができるのかを考えさせる。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2
	単元　A society with drones	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	ドローンなどの精密機器に関する語彙力を身に付け理解することができる。分詞構文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						ドローンのメリットや問題点、今後の展望について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	楽しみでも使われているドローンだが、一歩間違うと人間の恐怖になる可能性もある。ドローンの良い点、また悪い点など自分の言葉で述べてまとめることができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、ドローンの活用の是非についてピンポンディベートをすることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	ドローンを実際に使ったバロンを調べて、そのメリットやデメリットを考えることができる。また社会で必要とさせる場面を想定して、今後の活用の仕方を考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	単元　Cloning cultural properties	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	クローンテクノロジーについての語彙を理解して、また使うことができる。前置詞+関係代名詞の文を理解し、使うことができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						スーパークローン文化財の役割や重要性について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	世界で名だたる名画の複製についての、賛成反対意見を聞いて、自分の考えを伝えることができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、保存すべき文化財や芸術作品を紹介することができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	クローン技術の最前線を調べて、社会の中でこの技術がいかに活用されているかを理解して、今後の生活でどのように利用されるべきかを考えることができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2

令和6年度　年間授業計画　科目（　英語コミュニケーションⅡ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	領域 読	領域 話[や]	領域 話[発]	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単元　Peace messages from Hiroshima	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	戦争や平和に関する語彙を理解して、使いこなすことができる。倒置の起きている文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						さまざまな人からの平和のメッセージについて的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	世界で唯一の被爆国として、何をするべきかどのようなメッセージを発信していくべきかなどの意見をまとめて発表することができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、世界平和のために活動している人たちについて書くことができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	今もなお絶えることのない戦争や紛争について調べさせて、自分たちが平和な世界をもたらすために何ができるか考えて実行に移すことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	単元　Invigorating our local community	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○	○	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項						知識・技能				
	地域活動についての語彙を理解して、使うことができる。省略されてるの語句を見つけて、文を理解することができるようにする。	課題にしっかり取り組み、ペアで解答を導き出そうとしているか指導する。						若者の地域社会への参画や貢献について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材						思考・判断・表現				
	地域社会がいかに大切かを理解して、地域社会が活性化するためにどのようなことが必要か自分の意見をまとめて発表することができるようにする。	教科書、副教材						整理した内容を活用して、自分の地域社会への関わり方について書くことができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面						主体的に学習に取り組む態度				
	自分たちがいかに地域社会の中で暮らしているのか、またその中で何が必要とさせるのか考えて、今後の行動に移すことができるようにする。	単語などの調べ学習。単元に関連した項目の調べ学習。						小テストに取り組むことができる。ペアやグループなどにおける活動に積極的に参加できる。				
	定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2
												合計
												140